

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		婦人科腫瘍病態生理学特論Ⅱ				本郷 淳司	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
(1) 婦人科がんの理解を深めるため、その診断、治療、治療後フォローアップのEBMを理解し、自ら方針決定ができる力を身につける。 (2) 婦人科がんに関する研究の方法論を理解し、研究の結果を解釈する。							
授業到達目標							
(1) 提示症例、担当症例における診断、治療法を理解し説明できる。 (2) 指導医と共に婦人科がんの診断、治療方針を検討し、カンファレンスで発表できる。 (3) 婦人科がんの取り扱い規約、治療ガイドラインを読み、治療の総論、各論を解釈できる。 (4) 婦人科がんに関する最新の論文を読み、抄読会にて発表し、理解した内容をまとめてレポートを提出することができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	木	15:00-16:00	本郷 淳司	講義	[抄読会]	手術予定症例、難治症例などの治療カンファレンス、トピックスの抄読会にて討論する。 [場所:総合医療センター5階産婦人科医局]
評価方法							
(1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものとは異なる論文(症例)であること。 ※2月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。42・43頁:単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
紹介論文の要約について、添削して返却する。							
教科書							
ISBN-9780323400671, Clinical Gynecologic Oncology (9th ed.), P.J. DiSaia・W.T.Creasman・R.S.Mannell, et al., Elsevier (Mosby,Inc.), 2018							
参考書							
ISBN-9784307301336, 子宮頸癌治療ガイドライン(2017年度版), 日本婦人科腫瘍学会, 金原出版, 2017 ISBN-978-4307301381, 子宮体がん治療ガイドライン(2018年版), 日本婦人科腫瘍学会, 金原出版, 2018 ISBN-978-4307301213, 卵巣がん治療ガイドライン(2015年版), 日本婦人科腫瘍学会, 金原出版, 2015							
準備学習(予習・復習等)							
講義ごとに紹介する文献・論文を、次回講義までに読んでおくこと。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
大学院生として、婦人科腫瘍学の知識と実技の習得、また基礎実験に熱心に取り組んで下さい。							